

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 乳がん検診について	近年、日本では乳がんと診断される人の数が増えており、一生のうちに女性の12人に1人が、罹患するとも言われている。一方で、治療方法の進歩により、ステージⅠ～Ⅱ期では5年生存率90%以上、10年生存率でもステージⅡであれば80%近くに達している。乳がんはもはや不治の病ではなく、年間9万人弱が罹患するものの、7万5,000人は化学療法や放射線治療を受けながら生活できる時代になっているようです。
	65歳以上の検診もおこなっている本町で、20歳代という子どもを産める大切な年代、子育て世代の大事な時期に乳がんになってしまっては取り返しがつきません。
	乳がんは早期発見することで治療率が高いとされていますので早い段階での検診を求めます。そこで次の点について伺います。
	(1) 町内の乳がん発症者の、乳がん検診の受診率は。
	(2) 最近の乳がん発症年齢の実態にあわせて、その検診対象年齢を20歳からにできないか。
	(3) がん検診の内容で、30歳から39歳までが超

質 問 者 宮 元 潔

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	音波検査のみとなっているが、マンモグラフィ
	検査も取り入れられないか。
	(質問の相手：町長・担当課長)